

全国学力・学習状況調査を活用した少人数教育の効果検証について（速報）

1. 検証方法

児童生徒の学力・学習意欲等の改善状況について、追加的な人的措置を講じて少人数学級やチームティーチング・習熟度別指導に取り組む学校と、追加的な人的措置を講じていない学校の比較分析を、平成22年度及び平成25年度の全国学力・学習状況調査の結果(※)を用いて実施。

(※)平成25年度調査結果は速報値

今後さらに有識者を交えて詳細な分析を実施予定。

2. 現時点での分析状況のポイント(※今後さらに有識者を交えて詳細な分析を実施予定)

①小学校においては、学習集団を分けずに複数の教師が協力して指導する**チームティーチング**に取り組んだ学校の平均正答率が向上。(国語A、算数A)

<小学校>		国語A			算数A				
			H22	H25	H25-H22		H22	H25	H25-H22
少人数学級	H22未実施でH25実施	193校	0.052	-0.018	-0.070	193校	0.047	0.004	-0.043
	H22とH25の両方未実施	4307校	-0.003	0.004	0.007	4307校	0.001	0.002	0.001
チームティーチング	H22未実施でH25実施	88校	-0.003	0.023	0.026	368校	-0.022	-0.004	0.018
	H22とH25の両方未実施	3273校	-0.002	-0.004	-0.003	2733校	-0.003	-0.002	0.000
習熟度別指導	H22未実施でH25実施	53校	0.064	-0.016	-0.080	387校	-0.031	-0.021	0.009
	H22とH25の両方未実施	3397校	0.000	0.001	0.001	2594校	-0.009	0.000	0.010

②中学校においては、**習熟度別**に学習集団を分けた指導に取り組んだ学校の平均正答率が向上。(国語A、数学A)

<中学校>		国語A			数学A				
			H22	H25	H25-H22		H22	H25	H25-H22
少人数学級	H22未実施でH25実施	457校	0.017	0.000	-0.017	457校	0.032	0.006	-0.026
	H22とH25の両方未実施	2535校	-0.030	-0.017	0.013	2535校	-0.028	-0.022	0.006
チームティーチング	H22未実施でH25実施	84校	0.000	0.009	0.009	296校	-0.032	-0.032	0.000
	H22とH25の両方未実施	3185校	-0.008	-0.004	0.004	2268校	-0.001	-0.002	-0.001
習熟度別指導	H22未実施でH25実施	65校	-0.129	-0.102	0.027	322校	-0.051	-0.025	0.026
	H22とH25の両方未実施	3239校	-0.004	-0.000	0.004	2169校	0.004	-0.006	-0.011

※平成22年度及び25年度のそれぞれ前年度における追加的な人的措置を伴う少人数学級、チームティーチング、習熟度別指導の実施状況別に平均正答率の変化を分析したもの

※数値は過去との比較ができるように平均を0とする得点に換算。平均からどれだけ離れているかを相対的に示したものの。

注)平成25年度全国学力・学習状況調査は、小学校6年生及び中学校3年生を対象に、国語・算数(数学)の2教科で実施。主として、各教科のA問題は、身に付けておかなければならない「知識」を問う問題、B問題は、知識等を「活用」する力を問う問題となっている。

2. 現時点での分析状況のポイント(※今後さらに有識者を交えて詳細な分析を実施予定)

③ 少人数学級に取り組んだ学校では、小・中全ての教科を通じて平均無解答数の少な
さなど学習への積極的な姿勢が見られる。

特に学力下位層でその傾向が著しく、小学校では授業中の落ち着きや規律の正し
さ、中学校では家庭での学習習慣の確立に関する質問項目で肯定的な回答が多くなっ
ている。

○無解答数(小学校)

		国語A (全18問)		国語B (全10問)		算数A (全19問)		算数B (全13問)	
		H25	差	H25	差	H25	差	H25	差
少人数 学級	35人以下学級の児童(※1)	1.882	-0.076	1.310	-0.081	0.312	-0.018	0.790	-0.054
	36人以上学級の児童(※2)	1.958		1.392		0.330		0.843	
習熟度 別指導	習熟度別指導を受けた児童	1.998	0.203	1.390	0.124	0.319	0.051	0.838	0.038
	受けていない児童	1.795		1.266		0.268		0.758	
ティーム ティーチ ング	T・Tを受けた児童	1.869	0.067	1.337	0.070	0.306	0.024	0.820	0.042
	T・Tを受けていない児童	1.802		1.267		0.282		0.778	

○無解答数(中学校)

		国語A (全32問)		国語B (全9問)		数学A (全36問)		数学B (全16問)	
		H25	差	H25	差	H25	差	H25	差
少人数 学級	35人以下学級の生徒	0.713	-0.081	0.235	-0.024	1.893	-0.052	2.635	-0.067
	36人以上学級の児童(※2)	0.794		0.259		1.945		2.702	
習熟度 別指導	習熟度別授業を受けた生徒	0.882	0.176	0.301	0.074	1.945	0.146	2.699	0.207
	受けていない生徒	0.706		0.228		1.799		2.492	
ティーム ティーチ ング	T・Tを受けた生徒	0.764	0.051	0.255	0.024	1.876	0.041	2.636	0.104
	T・Tを受けていない生徒	0.714		0.231		1.835		2.532	

※1 前年度(中は1・2年生時)に追加的な人的措置により実施された35人以下学級に在籍していた児童生徒

※2 前年度(中は1・2年生時)に36人以上の学級に在籍していた児童生徒

◎上記の傾向については、学力層別に比較した場合、学力下位層(D層)の児童生徒
について顕著にあらわれる。

○学力下位層(D層)の児童の無解答数(小学校)

	国語A(全18問)		国語B(全10問)		算数A(全19問)		算数B(全13問)	
	H25	差	H25	差	H25	差	H25	差
35人以下学級の児童	4.040	-0.233	2.999	-0.237	1.061	-0.091	2.184	-0.230
36人以上学級の児童	4.273		3.236		1.152		2.414	

○学力下位層(D層)の生徒の無解答数(中学校)

	国語A(全32問)		国語B(全9問)		数学A(全36問)		数学B(全16問)	
	H25	差	H25	差	H25	差	H25	差
35人以下学級の生徒	2.242	-0.231	0.732	-0.096	5.246	-0.294	4.946	-0.255
36人以上学級の生徒	2.473		0.828		5.539		5.201	

2. 現時点での分析状況のポイント(※今後さらに有識者を交えて詳細な分析を実施予定)

○学力下位層(D層)の児童の割合が多い学校の状況と少人数学級の取組との関係(小学校)

	①35人以下学級の児童(※1)	②36人以上学級の児童(※2)	①-②
	肯定的回答	肯定的回答	差
6年生の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	82.5%	77.5%	4.9%
6年生の児童は、礼儀正しいと思いますか	77.0%	71.6%	5.4%
6年生の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができますか	69.5%	65.6%	4.0%

※1 前年度に追加的な人的措置により実施された35人以下学級に在籍していた児童

※2 前年度に36人以上の学級に在籍していた児童

○学力下位層(D層)の生徒の状況と少人数学級の取組との関係(中学校)

	①中1・中2の2年間35人以下学級の生徒(※1)	②中1・中2の2年間36人以上学級の生徒	①-②
	肯定的回答	肯定的回答	差
家で、学校の宿題をしていますか	80.1%	76.6%	3.5%
家で、学校の授業の復習をしていますか	40.2%	38.0%	2.2%
普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていますか	67.0%	60.6%	6.4%

※1 追加的な人的措置により実施

※2 国語Bの学力下位層

☆ 今後、有識者を交えて分析を行い、学級編制と指導方法工夫改善の取組が学力等に及ぼす影響をさらに詳細に検証予定。